



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション
 コード番号 3370 URL <http://www.fujitacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 博章
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-84-8888

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,571	△9.6	59	38.7	45	291.7	44	—
27年3月期第2四半期	2,844	△11.8	43	326.6	11	—	△32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	45.19	—
27年3月期第2四半期	△35.67	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	3,945	△35	△0.9	△36.57
27年3月期	4,324	△57	△1.3	△58.17

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 △35百万円 27年3月期 △57百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,305	△6.3	129	15.1	81	37.1	62	332.8	63.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	982,200 株	27年3月期	982,200 株
28年3月期2Q	79 株	27年3月期	79 株
28年3月期2Q	982,121 株	27年3月期2Q	898,531 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府が推進する経済・金融政策により、企業収益の改善や雇用の増加等の緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の減速や円安による輸入原材料の高騰や国内商品の値上げ等、依然として先行き不透明な状況にあります。

飲食業界につきましては、企業間の競争は激化する一方で、各社が新規出店や改装、不採算店舗の業態転換等、多様化する消費者のニーズを捉えるためにしのぎを削っております。

このような状況のもと、当社の各店舗・業態におきましては、商品・サービス・店舗の維持管理と店舗運営における基本事項を見直し、向上させて店舗内外の快適さを追求するとともに、販売管理費等のコストコントロールを継続して行い、顧客満足度の向上と収益改善の両立に努めてまいりました。

当第2四半期会計期間末における当社の展開業態及び稼働店舗数は18業態79店舗（前年同四半期末、21業態92店舗）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,571百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益59百万円（同38.7%増）、経常利益45百万円（同291.7%増）、四半期純利益44百万円（前年同四半期、四半期純損失32百万円）となり、平成26年4月に策定した経営改善計画の遂行により、着実に収益が改善されてまいりました。

セグメント別の情報は、次のとおりであります。

① 飲食部門

当第2四半期累計期間における飲食部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導のもと、新商品の投入を、オリジナルブランド事業におきましては、季節限定商品を継続して販売し、商品の付加価値や認知度の向上に努めてまいりました。両事業共にスマートフォンを利用して特定日・特定商品にターゲットを絞って販売促進活動を行ってまいりました。

飲食部門の当第2四半期会計期間末の店舗数は67店舗（前年同四半期末70店舗）となり、当第2四半期累計期間の売上高は2,071百万円（前年同四半期比4.5%減）、セグメント利益62百万円（同18.4%減）となりました。

② 物販部門

当第2四半期累計期間における物販部門におきましては、飲食部門と同様にフランチャイズ本部主導による販売促進活動、商品及びサービスの提供に加えて、来店顧客向けの店内イベントの開催等、再来店に繋げる活動を定期的に行ってまいりました。

物販部門の当第2四半期会計期間末の店舗数は12店舗（前年同四半期末22店舗）となり、当第2四半期累計期間の売上高は500百万円（前年同四半期比26.1%減）、セグメント損失2百万円（前年同四半期、セグメント損失33百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は936百万円となり、前事業年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が66百万円、商品及び製品が35百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,009百万円となり、前事業年度末に比べ301百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が91百万円、投資その他の資産が209百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,945百万円となり、前事業年度末に比べ379百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,039百万円となり、前事業年度末に比べ129百万円減少いたしました。これは主に短期借入金72百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,942百万円となり、前事業年度末に比べ271百万円減少いたしました。これは主に長期借入金248百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,981百万円となり、前事業年度末に比べ400百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は△35百万円となり、前事業年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に繰越利益剰余金が44百万円増加したが、その他有価証券評価差額金が23百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は△0.9%（前事業年度末は△1.3%）となりました。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月20日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成26年4月に策定した経営改善計画に基づき、不採算店舗の閉店及び譲渡を行った結果、前年同四半期に比べ13店舗減少し、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ9.6%減少したものの、販売管理費等の徹底した削減や設備投資の抑制を継続し、着実に収益の改善を進めてまいりました。

しかしながら、当第2四半期累計期間において、四半期純利益44,381千円を計上したものの、前事業年度末からの債務超過を解消するには至らず、当第2四半期会計期間末現在の純資産額は△35,916千円であります。また、当社の有利子負債は3,400,715千円と総資産の86.2%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、取引金融機関から返済条件の緩和を継続して受けている状況にあります。こうした状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、以下の通り当該重要事象等を解消するための対応策を実施しているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められません。

事業面におきましては、平成26年4月に策定した経営改善計画に基づき、ブランドを問わず、季節や期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォン向けのアプリやクーポンを使用した販売促進活動等の営業面、店舗の内外を清潔に保つ、販売管理費等のコスト削減等の運営面とを両立させ、経常利益45,509千円(前年同四半期比291.7%増)、四半期純利益44,381千円(前年同四半期、四半期純損失32,050千円)と着実に収益力の改善が図られております。今後も引き続き経営改善計画を遂行してまいります。

また、資金面におきましては、当社の主力取引銀行の支援のもと、取引金融機関に対し、平成28年5月までの長期借入金元本の返済条件の緩和継続を要請し、取引金融機関から同意を頂いており、経営改善計画の確実な遂行により、その後も継続的な支援を受けられる見込みであります。

当該金融支援と経営改善計画の着実な実行により、財務体質の改善を図るとともに、経営基盤を強化し、より安定的な営業利益・営業キャッシュ・フロー並びに当期利益の獲得を予定しております。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	413,382	346,723
売掛金	247,939	271,025
商品及び製品	204,235	168,662
原材料及び貯蔵品	51,785	53,387
その他	107,742	107,406
貸倒引当金	△11,100	△11,100
流動資産合計	1,013,985	936,105
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,357,872	1,288,859
工具、器具及び備品(純額)	154,012	136,618
土地	573,649	573,649
その他(純額)	48,077	43,175
有形固定資産合計	2,133,612	2,042,301
無形固定資産	148,007	147,709
投資その他の資産		
投資有価証券	256,303	75,295
長期前払費用	17,936	7,590
敷金及び保証金	726,663	702,600
その他	28,121	33,956
投資その他の資産合計	1,029,025	819,443
固定資産合計	3,310,645	3,009,454
資産合計	4,324,631	3,945,560
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,471	149,075
短期借入金	471,021	398,027
1年内返済予定の長期借入金	205,746	192,512
未払法人税等	12,204	11,206
店舗閉鎖損失引当金	7,716	3,890
資産除去債務	19,885	17,287
その他	296,365	267,322
流動負債合計	1,168,409	1,039,321
固定負債		
長期借入金	3,035,678	2,786,998
資産除去債務	6,337	6,348
その他	171,332	148,807
固定負債合計	3,213,347	2,942,154
負債合計	4,381,757	3,981,476

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	410,667	410,667
資本剰余金	70,216	70,216
利益剰余金	△574,091	△529,709
自己株式	△53	△53
株主資本合計	△93,261	△48,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,135	12,962
評価・換算差額等合計	36,135	12,962
純資産合計	△57,125	△35,916
負債純資産合計	4,324,631	3,945,560

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,844,799	2,571,378
売上原価	1,028,793	904,246
売上総利益	1,816,005	1,667,131
販売費及び一般管理費	1,772,883	1,607,306
営業利益	43,122	59,824
営業外収益		
受取利息	255	7,070
受取配当金	1,597	1,685
不動産賃貸料	80,522	89,474
受取保険金	2,124	277
その他	2,491	6,708
営業外収益合計	86,991	105,214
営業外費用		
支払利息	46,475	43,149
不動産賃貸原価	69,242	75,781
その他	2,777	599
営業外費用合計	118,496	119,530
経常利益	11,617	45,509
特別利益		
投資有価証券売却益	—	47,702
資産除去債務戻入益	1,000	—
特別利益合計	1,000	47,702
特別損失		
固定資産除却損	186	1,251
固定資産売却損	—	13,671
店舗閉鎖損失	11,571	28,067
社債償還損	17,291	—
契約解除損	10,725	—
特別損失合計	39,774	42,990
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△27,156	50,221
法人税、住民税及び事業税	4,894	5,839
法人税等合計	4,894	5,839
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,050	44,381

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△27,156	50,221
減価償却費	89,652	92,844
資産除去債務戻入益	△1,000	—
店舗閉鎖損失	11,571	28,067
社債償還損	17,291	—
契約解除損	10,725	—
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△5,593	△3,050
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△47,702
受取利息及び受取配当金	△1,853	△8,755
支払利息	46,475	43,149
社債発行費償却	99	—
固定資産除売却損益(△は益)	186	14,922
売上債権の増減額(△は増加)	25,579	△23,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,947	33,970
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,027	△3,369
仕入債務の増減額(△は減少)	△26,617	△6,396
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,379	△38,654
その他の流動負債の増減額(△は減少)	10,013	14,692
預り保証金の増減額(△は減少)	△1,257	△5,137
小計	199,417	141,717
利息及び配当金の受取額	1,853	8,764
利息の支払額	△51,880	△42,253
法人税等の支払額	△5,118	△10,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	144,271	97,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	—
定期預金の払戻による収入	617,070	—
投資有価証券の取得による支出	△8,598	△1,282
投資有価証券の売却による収入	—	195,891
有形固定資産の取得による支出	△48,214	△32,944
固定資産の売却による収入	5,000	12,244
短期貸付金の増減額(△は増加)	△165	2,110
長期貸付金の回収による収入	452	646
長期貸付けによる支出	△4,140	△6,480
敷金及び保証金の回収による収入	32,633	24,089
その他	△19,836	△16,157
投資活動によるキャッシュ・フロー	574,197	178,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△123,475	△72,994
長期借入金の返済による支出	△135,845	△261,914
株式の発行による収入	45,028	—
社債の償還による支出	△427,100	—
リース債務の返済による支出	△7,163	△5,069
その他	△14,272	△2,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	△662,828	△342,760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	55,640	△66,659
現金及び現金同等物の期首残高	278,175	413,382
現金及び現金同等物の四半期末残高	333,816	346,723

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	飲食	物販	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,168,387	676,411	2,844,799
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,168,387	676,411	2,844,799
セグメント利益又は損失(△)	76,328	△33,206	43,122

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	飲食	物販	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,071,181	500,196	2,571,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,071,181	500,196	2,571,378
セグメント利益又は損失(△)	62,310	△2,485	59,824

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。